

野村 のむら ようこ 羊子



と いっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.48

■ 9月議会報告

◆ 一般質問 「弱者」を支え守るまちづくり

1) 地域防災計画の「弱者」の視点からの検証と見直し

・木造密集市街地での初期消火や避難経路の住民の確認は？
→消防署・消防団がシュミレーション。

・避難所運営マニュアルで、女性・高齢者・障がい者等弱者の視点、子育て・介護ニーズを踏まえた対応は？

→高齢者・障がい者に配慮する旨記載済。女性の避難所運営連絡会の積極的参加を働きかける。

・福祉避難所設置の具体的取組みは？

→各施設と協議し、他の避難所同様に取り組む。



2) 放射能汚染対策について

・市内の放射性物質検査測定の結果検証と今後の対策は？

→空間線量測定は、104カ所で、0.04~0.13 μ Sv/h。除染するほどのレベルではない。土壌を測定する予定はない。

→学校給食食材は、9/2に10品目検査(その後判明した結果は不検出/検出限界値20Bq/kg)。今後の予定は、放射線量測定等庁内連絡会議で検討調整。

→保育園給食食材は、8/29に9品目検査し、全て不検出。

★ ★ 給食食材検査、第2回目の予定はまだない。

→環境センターの主灰351Bq/kg、飛灰3,409Bq/kg。基準値以下で、エコセメント工場の搬出。

→農産物は東京都が測定。5月ほうれん草、6月小松菜、7月なす、8月カボチャで、全て検出限界値以下。

→東部下水処理場の汚泥は1回目を除き100Bq未満。堆肥工場とセメント工場に搬出。★ ★ 放射能含有災害がれき処理が課題として浮上。薄めて拡散では問題解決にはならない！

・市民の声をどう受け止めているか？

→丁寧に検討し、市長が決断し実行している。

・消費者庁が貸与する予定の放射性物質検査機器や、地方消費者行政活性化基金の活用を推奨しているが、市での対応は？

→詳細未定。※その後、消費者庁貸与は24台で被災地優先。

基金申請に手を挙げないとした＝市独自の検査機器の購入はない？！今後どうするのか？

・子どもの被爆をゼロにする方向をめざすのか？

→そのような思いで取り組んでいく。

★ 市民の不安解消のための具体的行動が見えない



第5回放射線量測定会

～マイクロホットスポットを探す～

11月5日(土) 10~12時

集合場所未定(自転車移動予定)

測定して欲しい場所を募ります

三鷹市は170カ所で空間線量を測定し、結果は0.04~0.13 μ Sv/hでした。

問題なのは、雨樋の下など3月からの汚れが溜まっている場所。心配な場所を測ってみましょう。

放射線量測定器をお持ちの方も、お持ちではない方も、いっしょに測定しましょう。問合せ；いっしょの会

☆いっしょ広場Part5☆

学習会～土壌・食品の

放射線を測るとのこと～

日時；12月3日(土)

講師；箕輪はるかさん

(慈恵医大アイソトープ研)

場所；市民協働センター

今、放射能汚染で気になるのは土壌と食品。ベクレルモニターと空間線量計とで実際に計測しながら、ベクレルとは何か、放射線量を測定するとは何か、を学びます。

放射線量測定器をお持ちの方は、校正された機器との数値の差を確認し、ご自分の機器の特徴をつかみ、測り方を再確認下さい。お持ちでない方、これから購入を検討されている方は、放射能を測定するということを実地で体験し、今後の放射能への対応をともに考えていきましょう。問い合わせ；issyonokai@nomura-yoko.net Tel&fax 72-2425

◆決算審査特別委員会

2010年度の決算認定。にし色のつばさは半田議員が委員。当初から臨時財政対策債を限度まで借りる資金繰りの手法を問題と指摘。当初の見込みより法人税が若干持ち直して10億の減収。だが臨時財政対策債を予定通り発行。借金をして貯金をするのは問題として一般会計に反対。国保特会・後期高齢者医療特会の決算認定も反対。

◆市長提案議案

▽一般会計補正予算；①NPOと株式会社の認可保育園設置、認証保育園設置。②買物支援事業追加。産業誘致条例調査費(緊急雇用創出)。③木造住宅耐震診断助成費追加等。質疑で問題点を指摘し賛成。

▽自転車放置防止条例改正；自転車等駐車場を指定管理にし有料化。低所得者層への負担軽減を指摘して賛成。

▽公会堂別館建替工事；4億の工事で95%超の落札率。高落札率調査制度を主張し、反対。

▽公会堂改修工事；落札率86%。賛成。

◆議員提案議案

▽提出者野村の「放射線防護基準『年1ミリシーベルト』遵守を求める意見書」「災害廃棄物等の処理によって放射性物質を拡散させないことを求める意見書」は、ともに賛成16；にし・共・民・公、反対11；自・みんなの党で可決。

▽「再生可能エネルギー買取法の実効性を確保することを求める意見書」は否決。賛成11；にし・共・民、反対16；自・公・み。

▽「円高・デフレを克服する経済対策を求める意見書」には消費拡大を求める内容で、根本的な解決ではないことなどから反対。24：3で可決。



■外環特別委員会視察

9/26、首都高の交通管制室及び、中央環状と首都高3号線の交差点大橋ジャンクションを視察。交通管制室への視察には、首都高速道路(株)社長が挨拶。市議レベルではせいぜい部長対応だろうに何だろうと思っていたら、配布資料に「東京外環は首都高速道路と一体となって東京の暮らしを支えます」というリーフレット。要するに外環事業受注営業の一環ということ。記念撮影までされてしまった。



大橋ジャンクションでは、らせんを描

いて交差させる6階建てビルの屋上の田んぼと「おおはし里の杜」視察。整備費は8千万。維持費は年数百万。その後、地下数十mの品川線のシールドトンネル工事現場視察。シールド掘削機械の大きさを実感。これから合流部分の工事。この技術が外環でも問題とされているところ。解説者はここぞとばかりの説明。

外環は、土木建設会社の技術競争ということが実感できた視察だった。

■全員協議会第4次基本計画骨格案質疑。

24の個別計画の策定と同時並行で、2012年までの基本計画の策定作業が急ピッチで進んでいます。9/28、議会閉会直前に全員協議会にて説明と質疑(各会派質疑・答弁合せて30分ずつ)。



第3次からの大きな変更点は、

①市庁舎の建替えの検討。今年、公会堂別館の建替えをし、公会堂の改修工事もする。市庁舎建替えも巨額な事業。立川市の新庁舎建設費71億。②現在設計中の「新川防災公園(仮称)」＝多摩青果跡地再開発・大型スポーツセンター＋複合施設建設の位置づけ。6施設が関与し計画全体に記述。③東日本大震災を受け、防災に関する記述が加筆。④放射能測定の情報提供が加筆。ただし、今後の具体的行動・施策はなく、「子どもの放射能被曝ゼロに」という明確な姿勢はなかった。

10月、各住民協議会ごとにまつづくり懇談会を実施中。22, 23日に4カ所で予定。月末に無作為抽出のまちづくりディスカッションを予定。

「多層・多様な市民参加」というが、市内部での作文に決められた枠内で市民が感想を言う構図。グループ討議で意見を集約されてしまう。意見採択は、市が判断という手法に疑問は残る。

10月末までに骨格案のパブコメ募集。15の個別計画の骨格案等についてもパブコメを募集。反映のほどは不明だが、それでも声を届ける事はし続けたい。市HPからパブコメ提出を。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会No.48

〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104

Tel&Fax:0422-72-2425

E-mail: issyonokai@nomura-yoko.net

Url: <http://www.nomura-yoko.net>

